

# 呼吸器外科は、常に患者様のQ.O.L.を、第一に考えます!

呼吸器外科は、2006年に県立尼崎病院と県立塚口病院が機能分担し再編された折に、県立尼崎病院に集約されました。それ以後は、双方のスタッフが協力し、年間230例以上の全身麻酔下手術を続けております。新病院では、救急部が新設され、常時緊急患者様に対応できるようになります。スタッフを補強し、通常の手術を行っている時でも胸部外傷などの緊急手術に対応できるように、より一層充実させる予定です。

県立尼崎病院 呼吸器外科科長

## 糸井 和美

日本胸部外科学会指導医・認定医、  
日本呼吸器外科学会指導医・専門医・評議員資格、  
日本外科学会専門医・指導医、  
日本呼吸器内視鏡学会指導医・気管支鏡専門医



### 呼吸器外科の紹介

医療器具の進歩に伴い、呼吸器外科領域も低侵襲な手術が広く行われるようになってきました。当院でも、胸腔鏡というカメラを使い小さな切開創でおこなう内視鏡手術が、全体の8割を占めております。

肺癌の手術はもとより縦隔腫瘍の摘出術においては、従来は、心臓の前にある胸骨を縦に割る(胸骨正中切開)という侵襲の大きな手術を行っていましたが、現在は、片側の小開胸を行い胸腔鏡を利用して手術を行なうことで、患者さまに喜ばれております。

### 対象とする疾患

- 肺癌・縦隔腫瘍などの腫瘍性疾患から  
真菌症・結核・膿胸などの炎症性疾患
- 年間の呼吸器外科外来初診患者数:約300例
- 年間の全身麻酔手術症例230例以上
  - ・その内の約3分の1強が肺癌症例で、肺悪性腫瘍全般では、全症例の4割を占めています。
  - ・気胸症例が約5分の1で、結核や真菌症などの炎症性疾患が約10%です。



後列左から：野村医師、森村医師、長谷部学生、深田医師  
前列左から：岩切医師、糸井医師、阪井医師